

2020 年度 宗教倫理学会 夏季研修会（オンライン開催）

研究テーマ

「日本宗教における心と実践」 (Mind and Practice in Japanese Religion)

趣 旨

日本の宗教とその特徴を理解するためには、従来の宗教研究において強調されてきた、宗教の内面性（心あるいは信仰）に注目するばかりでなく、それと同時に、宗教の外側性すなわち具体的な実践面（生活慣習、儀礼あるいは修行形態）にも注目することが不可欠であろう。

したがって、夏季研修会では、これまで蓄積されてきた日本宗教に関する研究成果を踏まえたうえで、日本宗教の内面性と外側性の両側面、およびそれらの密接不可分な有機的連関に注目しながら、日本社会における具体的な宗教あるいは宗教的なものを、具体的な宗教的データにもとづいて、掘り下げた考察をおこないたい。

つまり、今回の研修会は、日本社会における宗教的リアリティの動態とその特徴を明らかにすることによって、従来の宗教研究においては、いまだ十分に解明されてこなかった日本宗教のリアリティの理解へ向けて、新たな宗教学的パースペクティブを提示しようとするものである。

開催日時・構成

【開催日時】 2020 年 8 月 25 日（火） 13:00～17:00 オンライン開催

【総合司会】 岡野彩子（研究プロジェクト委員長、大阪大学）

【パネル司会】 小田淑子（元関西大学）

【パネリスト】

小田淑子、竹下ルッジェリ・アンナ（京都外国語大学）

末村正代（関西大学）、宮本要太郎（関西大学）、澤井義次（天理大学）

【コメンテーター】

芦名定道（京都大学）

カティア・トリプレット（ドイツ・ライプチヒ大学）

◆プログラム

- 総合司会 岡野彩子（研究プロジェクト委員長）
- 13:00～13:10 開会の挨拶 芦名定道（宗教倫理学会・会長）
- 13:10～13:30 問題提起・研究発表① 小田淑子（元関西大学）
「日本人の宗教心と日本的宗教共同体」
- 13:30～13:50 研究発表② 竹下ルッジェリ・アンナ（京都外国語大学）
「日本の禅宗における身心の修行—釈宗演の体験を通して—」
- 13:50～14:10 研究発表③ 末村正代（関西大学）
「近代における日本宗教の越境—千崎如幻を事例として—」
- 14:10～14:30 研究発表④ 宮本要太郎（関西大学）
「日本宗教における「信心」」
- 14:30～14:50 研究発表⑤・まとめ 澤井義次（天理大学）
「日本宗教の意味構造—個人の宗教的信仰と生活慣習としての宗教—」
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～15:15 コメント 芦名定道（京都大学）
- 15:15～15:40 コメント カティア・トリプレット（ドイツ・ライプチヒ大学）
- 15:40～16:00 パネリストからコメントへの応答
- 16:00～16:45 全体討議
- 16:50～17:00 閉会の挨拶 岡野彩子

◆参加費 無料

◆参加申込み（2020年8月18日締切り）・問合せ

宗教倫理学会事務局 jaresympo48@gmail.com

※非会員の方は会員の紹介が必要です。